Niigata

2020.1 吉日

新潟県剣連会報

kenren 106

令和二年の年頭にあたって

一般財団法人　新潟県剣道連盟　会　長　**浅原　行雄**

明けましておめでとうございます。会員各位におかれましては令和２年の新年をご健勝にお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和元年度新役員に変わり、各委員会・会員皆様の温かいご協力を頂きながら新剣連の事業を推し進めて参りました。

昨年 12 月末には、待望の新潟県立武道館（愛称：謙信公武道館）がオープンし、(一財) 全日本剣道道場連盟主催・全国道場対抗剣道大会が開催されました。団体戦は剣道の特性である師弟同行の道場対抗戦、個人戦は全国道場少年剣道選手権大会として試合が行われました。この大会の開催が、幼少年剣士の剣道人口の増加に繋がればと願っております。

少子化に伴う剣道人口の減少は、昨年県内各地区で行われた昇段審査会においても、残念ながら中・高生の昇段受験者数減少という形で表れております。なお、本年度は初・二段受験者数の減少は、昨年度と比較すると 100 人を超えています。今後もこの傾向が続くようですと事業計画にも影響を及ぼしかねません。

昨年来マスコミ・報道機関の関係者にお願いし、新聞・雑誌・テレビ等に掲載・放映を頂きました。剣道に触れる場・見てもらう機会をより一層会員の皆様にも創って頂ければと考える次第です。

また、競技力の向上に関しましては、各大会に選抜された出場選手の皆様には、何かと仕事などで稽古、修行の時間が取れず大変かと思いますが、代表選手としての誇りと名誉をかけ、より一層のご努力を期待しております。

各大会参加・各大会開催と運営・各講習会開催と運営等々、各加盟団体にはご理解とご協力をいただき感謝申し上げる次第です。本年もそれ以上にご面倒をお掛けすると思いますが、より一層のご協力をお願い致します。

『つらしとて恨みかえすな我れ人に　報い報いてはてしなき世ぞ』30 年前に全国スポーツ少年大会で県代表を引率した鹿児島県さつま市金峰山に課外活動で登頂した折、道中の掲示物が目に入りました。

剣道は、有志が集い鍛え競い合い、認め合う、最も大切な修行方法です。自信を持って推し進めて参りましょう。

結びになりますが、本年も事業、予算共に一丸となって会員各位に応えられる様、努めたいと考えております。会員の皆様に、重ねてさらに剣友を募る努力とご協力をお願い申し上げます。

本年が、会員皆様の弥栄と素晴らしい一年なりますように御祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新潟県立「謙信公武道館」ついにオープン！

新潟県剣道連盟　常務理事　**赤塚　宰**

12月1日（日）待望の県立武道館が上越市にオープンした。上杉謙信公、生誕の地に立つ「謙信公武道館」である。

この武道場は、北信越最大規模を誇り延べ床面積約１万３千平方メートルの２階建てで、千人を収容できる大道場や小道場、弓道場、相撲場など国際基準に適合した施設が完成した訳である。今後県内競技大会はもちろん国内大会、世界大会などの開催が期待される。

当日は、オープニングイベントが行われ、竣工式典の後花角知事はじめ来賓によるテープカットや内覧会もあり大勢の来館者で賑わった。

この日はシドニー五輪銀メダリスト篠原信一さんのトークショーや空手家高野万優さんの形演武などの後、各武道団体による公開演武が行われた。

新剣連では、高田修道館の子供たちが「木刀による剣道基本稽古法」を、清徳館の子供たちが「日本剣道形」を披露した。日頃の練習の成果もあり会場からは大きな拍手が送られた。演武終了後には、各武道団体による体験コーナーも設けられ、剣道のコーナーでは防具を着けた両道場の子供たちを元立ちに、竹刀を手に「メーン！」「ドー！」と大きな声で楽しそうに体験する子供たちに交じり、大人の姿も見られ大人気であった。また、剣道を紹介するＤＶＤを制作し、モニターを設置して放映した。更に、チラシを印刷し剣道を身近に感じてもらえるよう親子に配布も行った。

謙信公武道館では全国規模の大会としては初めてとなる全国道場連盟による大会が１２月２２日に開催され熱戦が繰り広げられ、県内の選手が大いに活躍しました。

新剣連では、新年度より全日本選手権大会の予選会などをこの会場で開催する予定としております。

最後に、オープニングイベントにあたり、上越市剣道連盟の池田さん、高嶋先生、國弘先生をはじめとする皆さまに大変ご苦労をいただきましたこと、そして高田修道館と清徳館の子供たちにも感謝いたします。ありがとうございました。

想い出ボロボロ

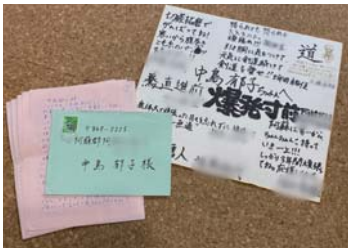
国体での奇跡　16 年前の手紙
「いつか国体で会える気がします！」が現実に

剣連会報の編集部にある情報が寄せられました。新潟の強化の先生からでした。―――――― あの全日本女子剣道選手権 2002 年（第 41 回）、2008 年（第 47 回）と優勝した「坪田祐佳」（現 小津野）選手（岡山県警）と親交があり、どうも北信越代表の新潟県とその岡山県が今回、茨城国体の初戦で対戦するらしい。しかも当日戦う中堅同士はその昔からいずれ対戦するかもしれないねと当時から予感していたというのだ。そして、彼女からの手紙を当時のまま持っている「憧れの先輩」なのだという。これを逃す手はない。現在、新潟医療福祉大学　剣道部顧問・監督であり、錬士六段。小柄な身体にパワー溢れる剣道で北信越大会でチームを４勝で１位代表とした立役者、中島郁子先生にご寄稿いただきました。因みに小津野選手、2008 年（第 47 回）大会は奇しくも村山千夏選手の４連覇を阻んだ方です。

中島　郁子　（右）
（新潟医療福祉大学）

第１章　8 月 25 日、8 月 25 日、北信越ブロックの成年女子の団体戦は、女神も味方してくれたと思う。One-team で戦い、本国体を勝ち取った。その茨城の本戦での出来事は私にとって特別で、ある機会に話題にしたらこちらへの寄稿のお話をいただいた。

団体戦はとにかく楽しい。チーム行動、応援、食事等はもちろん、稽古も試合も楽しい。何より国体出場が決まって、またこのメンバーで戦えることが嬉しかった。北信越の閉会式を終えて帰りの車の後部座席で、この喜びの中ボーっと思い出していたの



は、ある人からの手紙だった。

９月にトーナメントの組み合わせを知ったのは時代を反映して SNS 上でのことだった。全国で 16 チームに残った都道府県だから、どこと当たっても同じ、とはいえ開けてビックリ！　そんなことってあるの？と、思わずうなった。身震いした。こんな奇跡、と思った。女神さまの存在を実感する。

１回戦の相手は、今年の全日本都道府県を制した岡山県だった。間違いなく中堅は小津野選手―旧姓坪田さん。全盛期の鹿屋体育大学で、学生時代に全日本女子剣道選手権、インカレ、全日本学生のタイトルを総なめした伝説の人。独特の剣風は衰えを見せない、坪田祐佳さんその人、なんとも…。いや、そこじゃない！

中学２年生の秋、家の都合で奈良から鹿児島県鹿屋市に引っ越した私は、新しい土地で言葉も文化にも馴染めなかった。酷い状況の中、県の東西対抗で見つけて拾ってくださったのが、当時全盛期の鹿屋体育大学剣道部の監督であった故國分國友先生だった。奇跡はここから始まる…。

鹿屋体育大の道場に防具をおいて稽古し、選手の人に可愛がって（本当の意味で！）もらって剣道の楽しさを学んだ私にとって「日本一」はすぐ身近だった。その後の進路も、この流れにのって阿蘇高校へ進学した。
楽しいことばかりではなかった。寮生活では携帯電話はないのでひたすら手紙を書く。イマドキの高校生には想像がつかないだろうが、制限の多い寮生活の中で、手紙は数少ない外界との繋がりだったし励ましや癒しにもなっていた。

第２章

高校２年生の冬、前年度の全国選抜とインターハイ優勝校の私たちは、熊本県予選の決勝で負けてしまい全国選抜に出場できないことが決まった。言いようのない悔しさと情けなさで、おそらく（記憶にない！？）愚痴だらけだったに違いない私からの手紙に、最後のインカレを終えて、引退されたばかりの坪田先輩から返事が届いた。

祐佳先輩（そう呼んでいる）の剣道は綺麗で豪快で、とにかくカッコよかった。当時の私には優しくて明るい憧れの大好きな先輩だった。手紙は、達筆な字で便箋６枚、ご自身の経験もストレートに綴られている。エネルギーの溢れる心のこもった手紙を、私は熱くなりながら何回も何回も読み返した。数えきれないほど読んで、文面はほとんど暗記している。

祐佳先輩とは５歳違い。国体に限って言えば、大会で直接「会える（試合ができる）」チャンスは実はそう多くない。

「いつか郁ちゃんと、国体の会場で会える気がします。」って、だから、これが結構難しい。同時に国体に出場し、その時に同じ位置でメンバー入りしていなければならない。組み合わせも含め、条件がすべて揃わなければ、「会う」ことは叶わない。今回も、まさか試合ができるなんて思いもしていない。最低限の、「会場で会う」だけのことなら何とかなりそうだが、前後の文面からは、それ以上の予言的な文言…。

北信越（ミニ国体）優勝　石川監督と

試合は、祐佳先輩の得意技を、もう知りすぎるくらいにわかっていたはずなのに、打たれてしまう。でもやっぱり楽しかった。試合が終わって、祐佳先輩に手紙をみせた。廊下で先輩は大笑いしながら「郁ちゃん、大きくなって！」と言われてしまった。私はようやく連絡先を聞くことができたが、もう手紙は書かないかもしれない。でも、次の出会いはいつどの大会になるだろう。剣道を続けてきて、本当に良かったと思えた瞬間だった。

プロフィール

奈良県生駒市出身、鹿児島県鹿屋市の中学を卒業。
熊本県立阿蘇高等学校　卒業
浜松大学　健康プロデュース学部　卒業
浜松大学大学院修士課程　臨床心理学専攻　修了
筑波大学大学院博士後期課程　人間総合科学研究科　満期退学
新潟医療福祉大学　健康スポーツ学科　助教（2015 年４月～）
専門：臨床心理学、スポーツ心理学
資格：臨床心理士、認定スポーツカウンセラー
現在、様々な競技・レベル（高校生～プロフェッショナル）のアスリート個人やチームに、心の専門家として関わっている。
趣味：旅行、スキー、ダイビング
もともと、父が佐渡島の出身で、新潟には幼少期から毎年来ており、大好きな土地です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

剣　歴

奈良県習心館道場出身
現在：新潟医療福祉大学　剣道部顧問・監督、　錬士六段

高　校	九州選抜大会	団体優勝
	全国高校総体	団体ベスト８
大　学	東海女子学生剣道選手権大会	個人優勝
	東海女子学生剣道優勝大会	団体２位
	全日本女子学生剣道選手権大会	個人ベスト 16
	全日本女子学生剣道優勝大会	団体ベスト８
	全日本女子学生剣道東西対抗試合	西軍代表社会人
	全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会（奈良県代表）	出場
	全国教職員剣道大会（新潟県代表）	出場
	国民体育大会成年女子	出場

編集部より　中島先生、今後とも親交を深めて新潟県にいい風吹かせてください。そしていつか新潟でお２人の模範稽古を是非お願いします！

■大会結果報告

（その他の大会は新剣連ホームページをご覧ください）

■第６１回　全国教職員剣道大会

とき：令和元年８月１１日（日）
会場：サンアリーナせんだい（鹿児島県薩摩川内市）

▷男子個人戦　　２回戦敗退

１回戦	坂爪優太	（帝京長岡高教）	ココ	―		能　見（栃木）
２回戦	〃	〃		―	メ	菊　池（静岡）

▷女子個人戦　　３位

２回戦	宮島　望	（新潟青陵高教）	ド	―		前　田（東京）
３回戦	〃	〃	メ	―		昆　野（宮城）
準々決勝	〃	〃	メ	―		田　中（愛媛）
準決勝	〃	〃		―	メ	安　藤（兵庫）

▷団体戦　　ベスト８

２回戦	新潟県	3	―	2		岩手県
３回戦	新潟県	1	―	1		宮崎県
（代表戦）	○	高橋直	コ	―		濱　砂
準々決勝	新潟県	0	―	4		茨城県

宮島　望選手が本県としては初の女子個人戦３位に入賞しました。
また男子団体がベスト８。尚、宮島望選手、高橋直志選手（帝京長岡高校教諭）が優秀選手に選出されました。

■第５８回　全日本女子剣道選手権大会

とき：令和元年９月８日（日）
会場：ホワイトリング　長野市真島総合スポーツアリーナ

延長

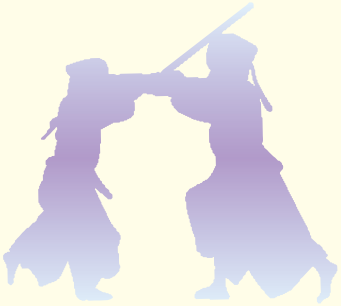
１回戦	植木ひかり（新潟）	コ	―	名越　友美（広島）

２回戦敗退

２回戦	表　ちさと（東京）	コ	―	植木ひかり（新潟）

１回戦敗退

１回戦	阿部　美洸（東京）	メ	―	小川梨々香（新潟）



■第 14 回　全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

とき：令和元年９月１５日（日）
会場：丸善インテックアリーナ（大阪市中央体育館）
主催：全日本都道府県対抗少年剣道大会実行委員会
（大阪市、公益財団法人　大阪府剣道連盟）

▷ 小学生の部 予選リーグ　　リーグ３位（惜敗）

京　都	2（3）	―	0（0）	鹿児島
新　潟	1（1）	―	2（2）	京　都
新　潟	0（0）	―	2（3）	鹿児島

▷中学生の部 予選リーグ　　リーグ２位（惜敗）

和歌山	0（0）	―	2（3）	長　崎
新　潟	4（4）	―	0（0）	和歌山
新　潟	0（0）	―	4（6）	長　崎

茨城国体に出場して

強化委員長　二平　正司

■初めに　少年男女チームは残念ながら北信越国体を突破出来なかったため本国体への出場はかないませんでした。成年女子は北信越国体を全勝で勝ち上がり、６年ぶりに本国体出場を果たし、成年男女が令和元年の記念すべき大会に向けいざ出陣することになりました。

■チーム構成　女子チームは３人編成で、ふるさと参加の大学生、そして教員、学校職員と所属はばらばらですが、強化練習だけでなくチームワークづくりに努めて来ました。男子チームは５人編成で、先鋒から副将まで警察官、大将は教員という構成であり、練習環境は申し分ありませんでした。

■あと一歩　女子は１回戦岡山県。先鋒が小手の１本勝ちで次に繋げますが、大将戦にもつれ込みます。どっと歓声が沸き「メン！」と思いきや我が軍の旗は上がりません。奮戦するも引き面で相手に凱歌があがりました。

男子は１回戦秋田県。先鋒が緊迫した中で果敢な二本勝ちをおさめ後続に託し、中堅、副将も勝利し初戦を突破しました。二回戦は大分県。ここを破れば…しかし、先鋒。次鋒が思わぬ敗退。後が無くなったが中堅、上段の副将が奮起して会心の技で勝利し、大将に繋げます。攻防厳しく奮戦するも残念ながら勝利を手にすることは出来ませんでした。

■振り返って　優勝県茨城を見るとチームワークというか「つながり」がありました。負けたところを補う。そして「勝負の神は細部に宿る」と思わずにはいられません。勝者はちょっとした隙をモノにします。その「細かなところを許さない稽古」厳しいですが私たちに突き付けられました。来年に向け精進したいと思います。

■第 74 回　茨城国民体育大会
（いきいき茨城ゆめ国体 2019）

とき：令和元年９月２９日～１０月１日
会場：筑西市下館総合体育館

■成年女子　　新潟１（１）－２（２）岡山　１回戦　惜敗

○	小　川　③	コ	―		横　道　⑤	
	中　島　⑥		―	メ	小津野　⑦	○
	田　畑　⑥		―	メ	稲　垣　⑦	○

■成年男子　▷成年男子１回戦　　○　新　潟　　３（５）　ー　１（２）　秋田

○	斉　藤　④	メコ	ー		小　野　④	
	西　野　⑤		ー	ド	草　彌　⑤	○
○	廣　瀬　⑦	メメ	ー	コ	土　田　⑥	
○	中　嶋　⑥	コ	ー		斉　藤　⑦	
	高　橋　⑧		×		湯　沢　⑧	

▷成年男子２回戦　　○大　分　　３（６）　ー　２（３）　新　潟　２回戦　惜敗

○	塩　野　④	メ	ー		斉　藤　④	
○	竹　下　⑥	メメ	ー		西　野　⑤	
	興　梠　⑦		ー	コ	廣　瀬　⑦	○
	堤　⑦	メ	ー	コメ	中　嶋　⑥	○
○	笠　谷　⑧	メド	ー		高　橋　⑧	

団体総合、堂々の第二位！

第 54 回全日本居合道大会　観戦記

監督　教士八段　**吉田　哲夫**

第５４回全日本居合道大会が１０月１９日に高知県民体育館で開かれ、都道府県対抗試合で本県選手団は総合２位に輝きました。

大会は都道府県の五、六、七段代表各段４７名が覇を競うもので、審判３名が赤白の旗で判定し、勝ち数と旗数で勝敗と順位を決めるもの。五段の部は、前々回大会で初出場・初優勝を果たした草間大介選手（光明館）が出場。４回戦まですべて３対０で危なげなく勝ち進んだものの、準決勝にあたる５回戦で地元・高知県の選手に１対２で惜敗しベスト４に。

六段の部は、６年前に五段で３回戦まで勝ち進んだ実績を持つ古田規子選手（豊栄）が出場。１回戦から強豪と当たり女性特有のしなやかさと剣先の鋭い走りで切り抜け、２回戦も勝ち抜いた。３回戦で優勝経験のある選手と当たり１対２で惜敗しベスト１６。

七段の部は、出場１０回目というベテランの今井恒之選手（上越）が出場。抜群の間と間合いを見せて４回戦まですべて３対０で勝ち進み、５回戦で優勝経験のある中堅選手に１対２で惜しくも敗退しベスト４。

３選手とも持てる力を十分に出し切り「新潟ここにあり」を示すことができました。御支援いただいた新潟県剣道連盟の皆様に御報告と御礼を申し上げます。

■第 54 回　全日本居合道

と　き：令和元年１０月１９日（土）
会　場：高知県立県民体育館

七段の部	今井　恒之（上　越）	５回戦惜敗（ベスト４）
六段の部	古田　規子（豊　栄）	３回戦惜敗（ベスト 16）
五段の部	草間　大介（光明館）	５回戦惜敗（ベスト４）

上記の結果（都道府県対抗優勝試合）、本県は団体総合２位となりました。

１位	高　知	２位	新　潟	３位	東　京

■第６７回　全日本剣道選手権

とき：令和元年１１月３日（日・祝）
会場：丸善インテックアリーナ大阪（大阪中央体育館）

１回戦敗退

坂爪優太 (24)	新潟	五段	▲▲ —	メ反	森原　諒 (31)	広島	五段

■第 68 回　全国青年大会剣道

とき：令和元年１１月８日（金）
会場：東京武道館

【男子団体戦】　１回戦敗退

新　潟　県	0	—	5	東　京　都

【女子団体戦】　１回戦敗退

新　潟　県	0	—	3	愛　知　県

【個　人　戦】　内藤真澄　ベスト１６

■ねんりんピック剣道 2019

と　　き：令和元年１１月９日（土）～１１日（月）
剣道会場：和歌山県白浜町立体育館

新潟県チーム（細貝・長尾・平井・遠山・高橋）　▷予選リーグ（１勝１敗）予選突破ならず

１回戦	新潟県	１（4）	—	１（3）	香川県
２回戦	新潟県	１（2）	—	２（2）	岡山県

新潟市チーム（田澤・内山・永井・上野・斎藤）　▷予選リーグ（１敗１分け）予選突破ならず

１回戦	新潟市	０（1）	—	３（6）	さいたま市
２回戦	新潟市	１（1）	—	１（1）	岩手県

剣談特別企画　新潟生まれの俊英・逸材　その 2

村山　千夏　教士七段
昭和 49 年生まれ。
新潟市北区松浜出身。

剣道をしている人なら殆どの人が知っています。その活躍は今も健在で現役選手として各大会に出場しています。全日本選手権２５回の出場中、優勝５回、２位２回、３位１回という、とてつもない偉業は今後もおそらくは破られることはないでしょう。昨年長野で行われた「全日本女子剣道選手権」では二回戦で敗れはしましたが、一回戦延長でお相手の”起こり”を捉え、狙い定めた面には風格を感じさせる見事な勝利だったと審判長総評で述べられていました。

中学までは新潟でしたが、高校は山形の左沢高校へ。そこでの転機が大きな変貌を遂げ、彼女は花開きました。しかし意外や意外、習いはじめの頃は…

「憧れの全国制覇」

私は小学校１年生から剣道を始め、足さばきや素振りなどを遊びながら楽しく学んでいました。当時は、剣道具は硬いし、打たれると痛く、だんだん剣道を学ぶのが嫌になり、「おなかや頭が痛い…」などと言っては母を困らせていました。しかし、その気持ちは試合に出場するようになり徐々に変わりました。「勝ちたい…」と。

第 58 回全日本女子　埼玉選手

私は小学、中学時代は、全国大会への出場経験はありません。高校時代は、全国大会出場、優勝経験もある高校での練

習、今までに経験したことのない厳しさでした。また親元を離れての団体生活は慣れないことばかり。何度も何度もくじけそうになりながら、同じ目標を持つ仲間と乗り越え、３年「選抜、インターハイ、国体」と夢である全国制覇をすることが出来ました。大学時代は、２年、４年、団体優勝。個人戦で同級生が良い成績を上げている中悔しい思いをして来ましたが、３年で優勝。この時、初めて個人戦で勝つことが出来ました。

埼玉県警に奉職してからは、新しい環境に慣れるのが精一杯で、とにかく目の前のことしか考えられませんでした。地元開催の国体候補選手になったのをきっかけとし、自分に足りないものを考えるようになり、取り組んで行きました。この頃、目標を「全日本女子選手権出場」から「優勝」としました。平成１７年、誰もが憧れる全日本。１２回目で初優勝。本当に嬉しかったです。しかし、優勝したということは「選手権者というプレッシャー」との戦いの始まりでもありました。正直、こんなにスランプになったのは、この時が初めてでした。どうしても結果が出ない日々が続きました。「なんで優勝したんだろう」とまで思ってしまうほどでした。そんな私を見捨てることなく、先生、先輩、同僚、そして後輩が支えて下さったおかげで乗り越えることが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。

今後もチャレンジ精神を忘れることなく今までの経験を活かしていければと思っています。

プロフィール

松浜中学　山形県立左沢高等学校　筑波大学　埼玉県警察　現 警察学校教官

剣　歴

中　学	２年生	県大会団体戦	２位
高　校	２年生	国民体育大会　少年女子	団体優勝
	３年生	全国高校選抜剣道大会	団体優勝
		インターハイ	団体優勝
		国民体育大会　少年女子	団体優勝
大　学	２年生	全日本女子学生剣道優勝大会	団体優勝
	３年生	全日本学生剣道選手権大会	優勝
	４年生	全国女子学生剣道優勝大会	団体優勝

社会人　世界剣道選手権大会女子団体　２回出場（団体優勝２回）
全国警察剣道選手権大会　12 回出場（優勝１回、３位２回）
関東警察剣道大会　12 回出場（優勝４回、２位２回、３位２回）
全日本女子剣道選手権大会　25 回出場（優勝５回、２位２回、３位１回）
国民体育大会　７回出場（優勝１回、２位１回）
全日本東西対抗剣道大会　７回出場
都道府県対抗剣道優勝大会　６回出場（２位、３位各１回）
都道府県対抗女子剣道優勝大会　８回出場（３位３回）

編　集　後　記

いよいよ待望の県立武道館（謙信公武道館）が完成しました。12 月１日のオープニングイベントには花角知事はじめ大勢の来館者で賑わったそうです。大道場は試合場８コートがとれ、北陸新幹線も開通したこともあり国内大会、世界大会などの開催も期待される様です。さらに柔道場、相撲場、弓道場、板張りの小道場（剣道場）、トレーニングルームなどが併設されているようですが私の興味はやはり小道場の床の質と広さでしょうか。床には塗装が無く、床暖房があれば豪雪地の上越でも怪我無く楽しく剣道が出来そうです。
若い頃関東の道場での稽古は道場が狭いので床板３枚での稽古をしたり、またある道場では道場の床がかまぼこ型になっており、中央の高い部分には元立ちの先生が立ち、低いほうには我々門下生が登り傾斜の床を打ち込んで行くという今時とはひと味違う稽古をしていました。今後、一度は荒波海峡を渡って立派な謙信公武道館で試合をさせていただきたいと思います。

▼昨年秋のラグビーワールドカップ。笑わない男で一躍有名になった稲垣選手は新潟市の出身との事。今回のラグビーワールドカップは文句なしに面白かったし、80 分間力が入りっぱなしで見ているほうも疲れました。世界プレミア野球、世界柔道など日本チームの活躍は目覚しく今年の 2020 東京五輪の活躍が期待されます。その中でどの種目においても微妙な判定では「ビデオ判定」が採用されていました。見ているほうも今までよりは納得した形の判定（ジャッジ）に思えました。剣道の世界に置き換えてみるとどうでしょうか？全日本選手権などの試合では範士八段の熟練の審判が行うわけですから、誤審などほぼ無いと思いますが、世界大会などではこれからビデオ判定の問題も出てくるのでしょうか？地方の大会では年間の試合の数も少なく、審判の経験も少ない有段者が審判を行います。１年に１回の審判講習会は受けるものの、いざ試合になると有効打突の判定が各々違っていたり、相打ちで逆の選手に判定するとか、私も無いとは言えません。後で保護者にビデオを見せてもらうと判定が間違っていたりとビデオに「ビデオ判定」されています。やはり審判も稽古をして「一眼二足・・・」とあるように今年は稽古を積んで「観の眼」を鍛え少年指導に励もうと思います。　（とき侍）

新潟県剣道連盟会報　第 106 号
令和２年１月 吉日 発行
事務局　〒950-0982　新潟市中央区堀之内南３丁目 1-21 北陽ビル 2F
TEL：025-384-4784　FAX：025-384-4794
http://niigata-kenren.com

新潟県剣道連盟の QR コードです。
ご利用ください。